

《担当者名》専任教員 / 岡橋 智恵 / 大山 静江 / 千葉 利代 / 山形 摩紗 / 秋元 奈美

【概要】

学習した歯科専門領域の基礎知識をあらゆる口腔の健康状態にある対象に適用し、科学的根拠に基づいて必要な歯科保健指導を実践できる能力を養う。

【学修目標】

対象を口腔の健康レベルからとらえ、個性に応じて必要な歯科介入を判断し、計画的に実践する過程を習得できる。

対象の多様な価値観を認め、円滑な対人関係を築くことができる。

基礎的な歯科保健技術を修得し、健康の保持・増進、疾病予防のために実践できる応用能力を習得できる。

臨床における歯科保健指導、公衆衛生現場活動における歯科保健教育の実施に向け、対象の把握、対象別指導法、対話訓練等を実践できる。

各種機関および施設での歯科保健指導を通して、対象者への理解を深め、口腔保健上の課題とその解決法を考察できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 (12	学齢期における口腔保健（隣地実習） 1．児童に対する歯科保健行動と口腔保健 2．児童の口腔観察と口腔保健指導 1)準備 2)導入（教育媒体による講話） 3)展開（個別指導） 4)グループ討議 5)まとめ 3．学年別集団指導	講義・実習 「浦臼小学校」での臨地実習を含む。 対象の年齢に応じた口腔内の特徴を把握し、指導上の要点や指導方法を学ぶ。 フィールド（臨地）実習に向け、情報収集、問題の分析、目標の設定、計画案の作成、実践、評価ができる。 年間計画に基づいた学年別の歯科保健指導内容を検討する。 過年度の情報を収集し、問題点の発見・分析を行い、対象に適した指導計画を立案できる。 各学年毎の教育媒体を作製。それらを活用し、発表できる。 各学年に対して集団指導を実施後、個人に適した援助を展開できる。 グループ別に実践を振り返り、評価する。	千葉 利代 山形 摩紗
13 (21	幼児期における口腔保健（媒体作製実習） 1．幼児に対する歯科保健行動と口腔保健指導 2．幼児の口腔内の特徴（今年度は情報収集のみ）	講義・実習 対象の年齢に応じた口腔内の特徴を把握し、指導上の要点や指導方法を学ぶ。 媒体作製に必要な対象者の情報をグループごとに収集した上で計画を立案する。 保健行動への動機づけができる教育媒体を作製する。 グループごとにビデオレターを発表し修正した上で幼稚園へ送付する。	大山 静江 秋元 奈美
22 (29	知的障がい者の口腔保健（隣地実習） 1．知的障がい者に対する歯科保健行動と口腔保健 2．知的障がい者の口腔観察と口腔保健支援 1)情報収集、準備 2)課題分析 3)支援計画の立案 4)介入 5)評価（グループ討議とまとめ）	講義・実習 知的障がい者福祉施設「幸生園」での隣地実習を含む。 施設の特徴、入所者の障がいの程度や生活状況等を知る。 知的障がい者を有する人々を総合的に理解し、個性を重視した口腔保健支援を計画・実施・評価できる。 施設職員による入所者へのブラッシング法の実際を見学し、口腔清掃の技術を修得する。	秋元 奈美 岡橋 智恵
30 (要介護高齢者の口腔保健 1．高齢者疑似体験 2．口腔のケア	講義・演習 要介護高齢者の身体的・心理的特徴を学ぶ。 口腔のケアの内容と方法を習得する。	秋元 奈美 岡橋 智恵 大山 静江

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
38	3、スクリーニング検査法 4、直接訓練 5、間接訓練	高齢者の摂食嚥下障害のスクリーニング検査方法について理解する。 高齢者の摂食嚥下リハビリテーション方法を学ぶ。	千葉 利代 山形 摩紗 植木 沢美

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による。

【評価方法】

各臨地実習先での実習態度等（各施設25点評価×3施設）

要介護高齢者の口腔保健における演習とレポート（25点）

以上を総合的に判断する。

【教科書】

必要に応じて指示する。

【学修の準備】

- ・各施設での実習の際は実習場所、実習日、実習時間、持ち物等を確認しておく。
- ・学外実習にふさわしい身装に整えておく。

[授業時間外学習]

予習：15分...各実習先の特徴を把握し、対象者のライフステージごとの特徴を把握しておく。

復習：15分...各実習後には実施内容、実習考察、所感をレポートに記入する。

【実務経験】

岡橋智恵・大山静江・千葉利代・秋元奈美・山形摩紗・植木沢美（歯科衛生士）

【実務経験を活かした教育内容】

臨床現場での実務経験を活かし、各施設で実施される集団指導や個別指導や高齢者施設の概要、口腔のケア、摂食嚥下訓練の講義・実習・演習を行う。